

種がき通報(第6報)



【令和6年7月19日】

宮城県水産技術総合センター
宮城県漁業協同組合
宮城県漁協各支所青年部・研究会

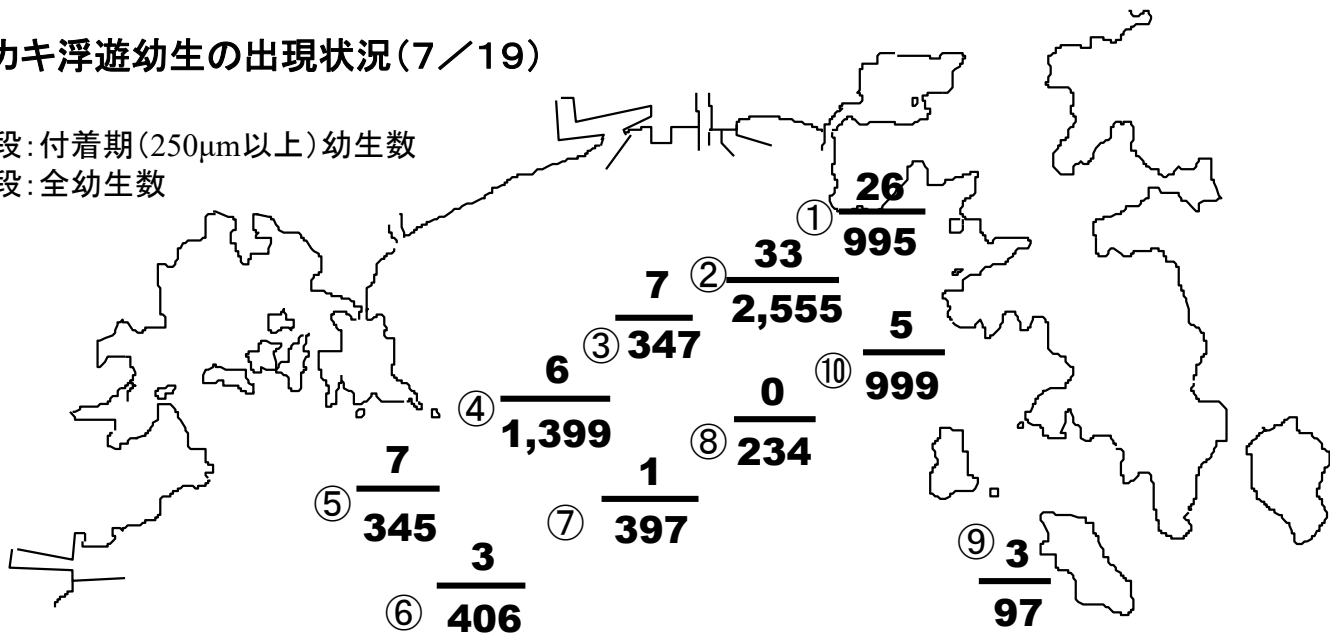
本日、浮遊幼生調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

【概況】

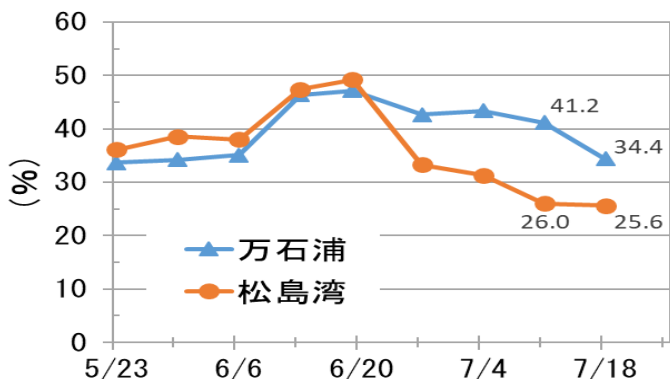
1. 石巻湾の表面水温は 23.1 ~ 25.6°C 比重は 17.0 ~ 24.0 でした。
2. 石巻湾でのマガキ浮遊幼生数は、全幼生数 97 ~ 2,555 個/100L、大型幼生数 0 ~ 33 個/100L でした。
3. 7月18日現在の熟度指数の平均値は、万石浦 (41.2 → 34.4%) で前回より低下し、松島湾 (26.0 → 25.6%) では横ばいでした。
4. 佐須浜の試験連付着調査では、7月18日 ~ 19日の間、原盤1枚1日あたり平均86個のカキ稚貝の付着が確認されました。

▼カキ浮遊幼生の出現状況(7/19)

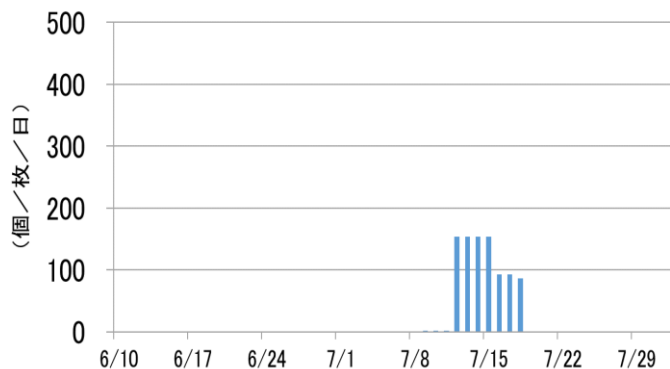
上段: 付着期(250μm以上)幼生数
下段: 全幼生数



▼カキ熟度調査調査(7/18)



▼佐須浜の試験連付着状況調査(7/19)



▼カキ浮遊幼生の出現状況調査結果

7月19日 9:15~11:23

曇り

調査点	表面水温 (°C)	比重 (σ15)	透明度 (m)	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)					
				<100	100~150	150~200	200~250	250<	合計
1	25.6	17.6	2.5	753	37	83	96	26	995
2	25.4	17.0	3.0	2,215	217	17	73	33	2,555
3	25.5	21.4	6.0	312	10	6	12	7	347
4	25.5	21.0	6.0	1,287	51	19	36	6	1,399
5	25.5	20.8	5.0	275	28	19	16	7	345
6	25.6	20.3	4.0	357	17	22	7	3	406
7	24.3	22.2	6.0	352	21	11	12	1	397
8	23.1	24.0	5.5	205	15	7	7	0	234
9	23.5	23.8	7.0	68	11	7	8	3	97
10	25.1	21.2	3.5	841	56	38	59	5	999

▼研究会による調査結果

観測研究会	月日	調査点	水温 (°C)	比重 (塩分)	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)						備考	
					<100	100~150	150~200	200~250	250<	合計		
石巻東部	7月18日	焼山沖	—	—	500	0	0	0	0	500		
		君ヶ根沖	—	—	500	50	0	0	0	550		
		鹿立家ノ前	—	—	1,000	0	0	0	0	1,000		
		焼山	—	—	500	0	0	0	0	500		
		君ヶ根	—	—	300	30	0	0	0	330		
石巻東部	7月19日	焼山沖	25.0	—	2,000	5	0	0	0	2,005		
		君ヶ根沖	25.0	—	1,000	10	3	5	0	1,018		
石巻湾	7月18日	松前	24.3	19	10	5	4	11	2	32		雑貝多し
		基幹滞	24.4	21	10	20	30	20	10	90		
		尾崎	26.2	18	50	150	70	30	15	315		
		生草	26.2	19	10	10	10	15	0	45		
		新免4号(沖)	26.3	17	80	10	80	95	30	295		
		新免4号(岸)	25.5	16	150	11	35	38	2	236		
		長浜(東)	26.0	18	1,000	10	110	200	38	1,358		
長浜(西)	25.1	18	220	20	40	80	16	376				
鳴瀬	7月17日	椿山	24.2	17	53	17	5	3	2	80		
		津島	24.8	26	65	12	0	0	0	77		
		鐘島	25.2	25	860	344	52	32	20	1,308		
		寒風沢	25.4	26	205	54	2	1	1	263		
		野蒜	25.0	25	74	34	22	10	6	146		
		柳浜	24.9	26	466	124	8	4	2	604		
鳴瀬	7月18日	椿山	25.7	20	12	3	6	10	9	40		
		津島	24.8	23	28	4	20	8	14	74		
		鐘島	25.2	24	162	76	40	48	24	350		
		寒風沢	25.5	24	220	64	16	2	6	308		
		野蒜	23.7	19	6	12	16	18	14	66		

▼東北地方 1か月予報(令和6年7月18日仙台管区气象台発表) (7月20日から8月19日までの天候の見通し)

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- 期間の前半は前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は東北日本海側で平年並か少ないでしょう。

(1週目) 7/20~7/26	(2週目) 7/27~8/2	(3~4週目) 8/3~8/16
東北太平洋側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

次回の通報発行は7月23日(火)の予定です。